

2024年6月7日

各位

会社名 株式会社 Z U U
代表者名 代表取締役 富田和成
(コード番号: 4387 東証グロース)
問合せ先 執行役員 大井賢治
(TEL. 03-4405-6102)

通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月13日に発表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期の連結業績予想値と実績値との差異

2024年3月期通期連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,800 ～3,250	百万円 50 ～350	百万円 51 ～351	百万円 △46 ～162	円 銭 △9.68 ～34.11
実績値 (B)	2,899	115	126	△45	△9.51
増減額 (B-A)	99 ～△350	65 ～△234	75 ～△224	0 ～△207	
増減率 (%)	3.6 ～△10.8	130.0 ～△67.1	147.3 ～△64.1	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	3,399	210	209	90	18.96

2. 差異の理由

(1) 売上高

フィンテック・プラットフォーム領域においては、送客事業ではGoogleコアアルゴリズムアップデートの影響によりOrganic流入数が減少したことにより、メディア関連売上が前回発表予想の下限及び上限より50百万円減少しました。

一方でフィンテック・トランザクション領域においては、融資型クラウド・ファンディングは順調に成立案件が続き、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社ZUU Wealth Managementが主となり金融商品仲介業及び保険代理業が順調な伸びを示し、またその他の金融関連事業も順調に成長しました。これら金融事業全般の伸長により、

金融事業の売上については、前回発表予想の下限より149百万円増加したものの、その他の金融関連事業の売上の一部が翌期へと後ろ倒しとなることに伴い前回発表予想の上限より300百万円減少しました。

(2) 営業利益及び経常利益

コスト面では、売上原価については、金融商品仲介業及び保険代理業の売上が好調であったことにより外務員へのインセンティブ報酬が前回発表予想の下限及び上限より増加しました。販売費及び一般管理費・営業外費用については、おおむね前回発表予想の下限及び上限の範囲内に収まりました。

これら要因により、営業利益及び経常利益は前回発表予想の下限及び上限の範囲内に収まりましたが、営業利益は上限より234百万円、経常利益は上限より224百万円減少しました。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益

当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したと判断したものについて、特別損失として投資有価証券評価損49百万円を計上することとしました。

これにより、前回発表予想の下限及び上限の範囲内に収まりましたが、上限より207百万円減少しました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。今後、変更すべき事象が生じた場合には速やかに発表いたします。

以 上